

平成24年度

社会資本整備総合交付金事業

24-30 大潟環状線舗装補修工事

現場説明事項書

(実 施)

大 潟 村

平成24年9月

第1編 共通編

第1章 総 則

1－1 工程関係

本工事において、他の管理者より特別施設及び施工時間帯等の制約を受けた場合は別途協議します。

1－2 公害関係

施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は別途協議します。

また、工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要になった場合は別途協議します。

1－3 安全対策関係

- ・ 工事期間中の交通管理として、交通誘導員（B）50名を計上していますが、現地の状況、関係機関等との協議により変更が必要な場合は別途協議します。

- ・ 車両乗入部等、工事の際に覆工（敷鉄板を含む）等が必要な場合は別途協議します。

1－4 参考図書

設計図書の外に提示する「参考図書」は、入札参加者の迅速な見積に対しての一資料であり、請負契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

1－5 建設副産物

当該工事の施工により発生する特定建設資材廃棄物は、経済性を考慮し下記の処理施設へ搬出・処理することとしています。なお、このことは、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではありません。

- ・ アスファルト切削殻

施設名：㈱大道工業

所在地：南秋田郡井川町今戸小谷地 91

1－6 発生残土

工事で発生する残土については、運搬距離 $L = 13.0$ kmの場所に搬出し、敷均しをすることとして見積もってください。なお、現場条件等に変更がある場合は別途協議することとします。

1－7 近接工事調整について

当該工事の落札者が、当該工事との近接工事調整対象工事の請負者となった場合は、間接工事費等の調整が行われます。なお、調整は土木工事標準積算基準書（参考資料）に基づいて行います。

第2章 一般施工

2-1 設計数量

路面切削とレベリングの設計数量は、表層設計数量に対する昨年度の施工実績比率により算出しています。この数量については、特記仕様書（第4章 その他 第1条 事前調査）により取り扱うこととします。

2-2 支障物件

施工にともなって、支障となる物件が発生した場合は、別途協議します。

第3章 その他

3-1 参考図書

設計図書の外に提示する「参考図書」は、入札参加者の迅速な見積に対しての一資料であり、請負契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

3-2 積算基準

工事費の積算は、以下の積算基準に基づき実施しています。

- (1) 土木工事標準積算基準書〔共通編〕（平成23年10月以降適用）秋田県建設交通部
- (2) 土木工事標準積算基準書〔道路編〕（平成23年10月以降適用）秋田県建設交通部
- (3) 土木工事標準積算基準書〔参考資料〕（平成23年10月以降適用）秋田県建設交通部
- (4) 建設機械等損料算定表（平成23年10月以降適用）秋田県建設交通部

3-3 その他

本工事における施工条件について、明示されなかった新たな事項が発生した場合は、別途協議します。